

(2004. 11. 1 制定)
(2010. 10. 29 改訂)
(2013. 01. 18 改訂)
(2014. 03. 18 改訂)
(2014. 08. 01 改訂)
(2015. 05. 25 改訂)
(2016. 06. 01 改訂)
(2018. 04. 23 改訂)
(2019. 03. 29 改訂)

性能評価用提出図書（別添）作成要領

＜防火材料＞
(壁紙, 塗料, フィルム等の表面化粧材用)

～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）です。
当法人打合せ担当者との打合せの中で試験体仕様の選定を行いますが、その際の資料として、申請される材料を漏れなく記載願います。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA 4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）

性能評価用提出図書の書き方（例）

（別添）

↓この部分の数字は全角で

1. 材料名

〇〇〇樹脂系塗装〇〇〇樹脂系フィルム張／基材（不燃材料（金属板を除く））

打合せ担当者との打合せに基づいて材料名を記入してください。
わからない場合は一般名称でも構いませんが、商品名は記入しないでください。

4. 構造説明図（寸法単位：mm）

- 1) 本申請の材料構成について断面図で説明して下さい。
- 2) 図面中の材料名は「5. 材料構成」中の「項目」名と整合させてください
- 3) 「5. 材料構成」で記載されている各材料がどのような方法で使用されているかについてわかりやすく図示してください。
- 4) 申請材料にバリエーションがある場合には、それぞれの図面を添付してください。

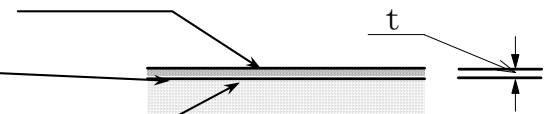
項目名

1) 表面化粧材…〇〇〇樹脂系塗装〇〇〇樹脂系フィルム

2) 施工接着剤…〇〇〇系樹脂

3) 表面処理剤…〇〇〇系樹脂

4) 基 材…不燃材料（金属板を除く）※



t = 〇〇以下

（例）

※平成12年建設省告示第1400号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの

該当する条文をリストから選択してください。

2010. 7. 7 改訂)
(2010. 10. 29 改訂)
(2012. 11. 26 改訂)
(2014. 08. 01 改訂)
(2015. 05. 25 改訂)
(2015. 06. 01 改訂)
(2018. 04. 23 改訂)
(2019. 03. 29 改訂)

性能評価用提出図書（別紙） 作成のお願い

<防火材料>
(壁紙, 塗料, フィルム等の表面化粧材用)

～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）の試験体の選定理由部分です。
評価作業を効率よく実施するため、性能評価用提出図書（別紙）作成をお願いしています。当法人打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは9.0ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）
- 5) 大臣認定に係る性能評価は、申請材料の仕様に対する評価であるため、「商品名」は記載しないでください。
- 6) 赤色で囲っている部分は、試験体の材料仕様を示す部分です。
実際の試験体で用いた材料および試験体図面と一致させてください。
- 7) 青色で囲っている部分は、各材料のバリエーション、数値の公差、範囲等の申請範囲を示す部分です。各材料にバリエーションのある場合は、あらかじめ全てのバリエーションを評価図書に明記して下さい。また、各構造の中でJIS製品、大臣認定品等を使用する場合は、その番号も明記して下さい。
- 8) 緑色で囲っている部分は、申請材料(青色部分)に対して、試験体の材料(赤色部分)が防火上不利なものとして選定されている理由を示す部分です。書き方につきましては、当法人打合せ担当者にご相談ください。

5. 評価方法

5-1 試験体の選定

1) 形状及び寸法等

”平滑・粗面・エンボス”等の中から、選択して記載して下さい(複数可)。

項目	試験体の材料	試験体の形状	試験体の選定理由
形状	平板	平板	仕様と同じ
表面形状	エンボス (最大深さ〇〇mm)	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)平滑 (2)エンボス (最大深さ〇〇mm)	表面積が大きく防火上不利となる(2)
表面化粧材の厚さ(mm)	〇〇	〇〇±〇〇以下	表面化粧材の燃焼は一気に起こり、基材に対して「防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴の生じやすさ」には発熱速度及び発熱量の大きくなる方が影響度は増す。よって、表面化粧材としては発熱速度、発熱量とも大きくなる有機質量を最大としたときの厚さ及び質量とした
表面化粧材の質量(g/m ²)	〇〇	〇〇±〇〇以下	

試験体の材料を記載してください。数値は全て確定値で記載して下さい(以上、以下、±、～等は不要)。

公称値_{±公差}(製品許容差)で明記して下さい。

この欄は打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入して下さい。

試験体の材料を記載してください。
数値は全て確定値で記載して下さい
(以上、以下、±、～等は不要)。

打合せ担当者との
事前打合せ内容に
基づいて記入して
下さい。

2) 材料構成

項目	試験体の材料	仕様	試験体の選定理由																																												
表面化粧材	<p>〇〇〇樹脂系塗装〇〇〇樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 〇〇mm ・質量 〇〇g/m² (有機質量〇〇g/m²) ・構成 <p>[1] 表面塗装：〇〇〇系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 〇〇g/m² (固形量) (有機質量〇〇g/m²) <p>「以上、以下、±、～」等を除いた防火上不利となる限定された数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) <table border="0"> <tr> <td>〇〇〇樹脂</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>有機質系添加剤 (〇〇等)</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> </table>	〇〇〇樹脂	…	〇〇	有機質系添加剤 (〇〇等)	…	〇〇	〇〇〇	…	〇〇	<p>〇〇〇樹脂系塗装〇〇〇樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 〇〇±〇〇mm以下 ・質量 〇〇±〇〇g/m²以下 (有機質量〇〇±〇〇g/m²以下) ・構成 <p>[1] 表面塗装：〇〇〇系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 〇〇±〇〇g/m² (固形量)以下 (有機質量〇〇±〇〇g/m²以下) <p>樹脂の質量は固形量で記載して下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) <table border="0"> <tr> <td>〇〇〇樹脂</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇〇</td> </tr> <tr> <td>有機質系添加剤 (〇〇等)</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇〇</td> </tr> </table>	〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇〇	有機質系添加剤 (〇〇等)	…	〇〇±〇〇	〇〇〇	…	〇〇±〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・有機質量が多く防火上不利となる最大 <p>[1] 有機質量が多く防火上不利となる最大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様と同じ <p>行を揃えて表記して下さい。</p>																										
	〇〇〇樹脂	…	〇〇																																												
	有機質系添加剤 (〇〇等)	…	〇〇																																												
〇〇〇	…	〇〇																																													
〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇〇																																													
有機質系添加剤 (〇〇等)	…	〇〇±〇〇																																													
〇〇〇	…	〇〇±〇〇																																													
	<p>[2] 印刷インキ： 〇〇〇系樹脂</p> <p>(1)～(3)のうち、防火上不利となる限定された材料</p>	<p>[2] 印刷インキ：</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 〇〇〇系樹脂</p>	<p>[2] 発熱量*が多く防火上不利となる(1)</p>																																												
	<p>・質量 〇〇g/m² (固形量) (有機質量〇〇g/m²)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) <table border="0"> <tr> <td>〇〇〇樹脂</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>有機質系顔料 (〇〇等)</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>～を除いた防火上不利となる限定された数値</p> <p>以下には「なし」を含みません。「なし」の仕様がある場合は左記の様に、仕様に「なし」を記載して下さい。</p> <p>[3] 主素材： 〇〇〇樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 〇〇mm ・質量 〇〇g/m² (有機質量〇〇g/m²) ・組成 (質量%) <table border="0"> <tr> <td>〇〇〇樹脂</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>有機質系充てん材 (〇〇等)</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>…</td> <td>〇〇</td> </tr> </table>	〇〇〇樹脂	…	〇〇	有機質系顔料 (〇〇等)	…	〇〇	〇〇〇	…	〇〇	〇〇〇樹脂	…	〇〇	有機質系充てん材 (〇〇等)	…	〇〇	〇〇〇	…	〇〇	<p>申請仕様が複数存在する場合は、「(1)～(*)のうち、いずれか一仕様とする」と表記して下さい。2種類の場合には「(1)、(2)のうち、・・・」と表記して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 〇〇±〇〇g/m² (固形量)以下 (有機質量〇〇±〇〇g/m²以下) ・組成 (質量%) <table border="0"> <tr> <td>〇〇〇樹脂</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇〇～〇〇±〇</td> </tr> <tr> <td>有機質系顔料 (〇〇等)</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> </table> <p>(2) 〇〇〇系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 〇〇±〇〇g/m² (固形量)以下 (有機質量〇〇±〇〇g/m²以下) ・組成 (質量%) <table border="0"> <tr> <td>〇〇〇樹脂</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> <tr> <td>有機質系充てん材 (〇〇等)</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> </table> <p>(3) なし</p>	〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇〇～〇〇±〇	有機質系顔料 (〇〇等)	…	〇〇±〇～〇〇±〇	〇〇〇	…	〇〇±〇～〇〇±〇	〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇～〇〇±〇	有機質系充てん材 (〇〇等)	…	〇〇±〇～〇〇±〇	〇〇〇	…	〇〇±〇～〇〇±〇	<ul style="list-style-type: none"> ・有機質量が多く防火上不利となる最大 ・有機質量が多く防火上不利となる組成 ※各樹脂の単位質量あたりの発熱量 [MJ/kg] <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂</th> <th>発熱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリエステル</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>エポキシ</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>フッ素</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：欧州鋼構造協会連合協議会第3分科会、鋼構造の火災安全に関するヨーロッパ 規準-デザインマニュアル</p> <p>2項目以上同じ選定理由の場合、項目名(厚さ、質量等)を列記して下さい。</p>	樹脂	発熱量	ポリエステル	30	エポキシ	34	フッ素	4.2
〇〇〇樹脂	…	〇〇																																													
有機質系顔料 (〇〇等)	…	〇〇																																													
〇〇〇	…	〇〇																																													
〇〇〇樹脂	…	〇〇																																													
有機質系充てん材 (〇〇等)	…	〇〇																																													
〇〇〇	…	〇〇																																													
〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇〇～〇〇±〇																																													
有機質系顔料 (〇〇等)	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													
〇〇〇	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													
〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													
有機質系充てん材 (〇〇等)	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													
〇〇〇	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													
樹脂	発熱量																																														
ポリエステル	30																																														
エポキシ	34																																														
フッ素	4.2																																														
	<p>[3] 主素材： 〇〇〇樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 〇〇mm以下 ・質量 〇〇g/m²以下 (有機質量〇〇g/m²以下) ・組成 (質量%) <table border="0"> <tr> <td>〇〇〇樹脂</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> <tr> <td>有機質系充てん材 (〇〇等)</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>…</td> <td>〇〇±〇～〇〇±〇</td> </tr> </table>	〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇～〇〇±〇	有機質系充てん材 (〇〇等)	…	〇〇±〇～〇〇±〇	〇〇〇	…	〇〇±〇～〇〇±〇	<ul style="list-style-type: none"> ・有機質量が多く防火上不利となる最大 ・有機質量が多く防火上不利となる組成 <p>[3] 厚さ、質量</p>																																				
〇〇〇樹脂	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													
有機質系充てん材 (〇〇等)	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													
〇〇〇	…	〇〇±〇～〇〇±〇																																													

同じ項目の内容を複数のページにわたって記載する場合は、「項目名(つづき)」と表記してください。

項目	試験体の材料	仕様	試験体の選定理由
表面化粧材 (つづき)	<p>[4]裏打接着剤：○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量 ○○g/m² (固形量) (有機質量○○g/m²) <p>・組成 (質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○ 有機質系添加剤 (○○等) ……………○○ ○○○……………○○ <p>[5]裏打紙：○○紙</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚さ ○○mm 質量 ○○g/m² 	<p>[4]裏打接着剤：○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量 ○○±○○g/m² (固形量) 以下 (有機質量○○±○○g/m²以下) <p>・組成 (質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○±○～○○±○ 有機質系添加剤 (○○等) ……………○○±○～○○±○ ○○○……………○○±○～○○±○ <p>[5]裏打紙：○○紙</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚さ ○○±○○mm以下 質量 ○○±○○g/m²以下 	<p>[4]</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機質量が多く防火上不利となる最大 有機質量が多く防火上不利となる組成 <p>選定理由がすべて同じ場合、項目名(厚さ、質量等)の記載は不要です。</p> <p>[5]</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機質量が多く防火上不利となる最大
施工接着剤	<p>○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量 ○○g/m² (固形量) (有機質量○○g/m²) <p>・組成 (質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○ 有機質系添加剤 (○○等) ……………○○ ○○○……………○○ 	<p>○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量 ○○±○○g/m² (固形量) 以下 (有機質量○○±○○g/m²以下) <p>・組成 (質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○±○～○○±○ 有機質系添加剤 (○○等) ……………○○±○～○○±○ ○○○……………○○±○～○○±○ 	<ul style="list-style-type: none"> 有機質量が多く防火上不利となる最大 有機質量が多く防火上不利となる組成
表面処理剤	<p>○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量 ○○g/m² (固形量) (有機質量○○g/m²) <p>・組成 (質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○ 有機質系充てん材 (○○等) ……………○○ ○○○……………○○ 	<p>○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量 ○○±○○g/m² (固形量) 以下 (有機質量○○±○○g/m²以下) <p>・組成 (質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○±○～○○±○ 有機質系充てん材 (○○等) ……………○○±○～○○±○ ○○○……………○○±○～○○±○ 	<ul style="list-style-type: none"> 有機質量が多く防火上不利となる最大 有機質量が多く防火上不利となる組成
基 材	<p>せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚さ 12.5mm 平成12年建設省告示第1400号 <p>-----</p> <p>繊維混入けい酸カルシウム板</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚さ 6mm 密度 0.8g/m² 平成12年建設省告示第1400号 <p>-----</p> <p>亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚さ 0.27mm 平成12年建設省告示第1400号 	<p>不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1400号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの</p> <p>-----</p> <p>不燃材料 (せっこうボード及び金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1400号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及びせっこうボード、鉄鋼、金属板を除くもの。ただし厚さは6mm以上とする。</p> <p>-----</p> <p>不燃材料 (金属板)</p> <p>平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>	<p>当法人が制定した「防耐火性能試験・評価業務方法書」(以下、「方法書」)に基づく</p> <p>今回の仕様に該当する基材を選択し、不要な内容は削除してください。</p>

項 目	試験体の材料	仕 様	試験体の選定理由
基 材 (つづき)	せっこうボード ・厚さ 9.5mm 平成12年建設省告示第1401号	準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く） 平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの ----- 準不燃材料（せっこうボード）及び不燃材料（金属板を除く） 平成12年建設省告示第1401号第1第二号に例示されたせっこうボード及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの	

5-2 試験の方法

試験は、5-1に示した試験体について、方法書「4.10 不燃性能試験方法」に従い、発熱性試験およびガス有害性試験を実施した。

5-3 試験の結果

該当する条文を選択して下さい。
不明な場合には、打合せ担当者にご相談ください。

[発熱性試験]

- (1) 加熱開始後20分間の総発熱量が、 $8\text{MJ}/\text{m}^2$ 以下であった。
- (2) 加熱開始後20分間、防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がなかった。
- (3) 加熱開始後20分間、最高発熱速度が、10秒以上継続して $200\text{kW}/\text{m}^2$ を超えなかった。

[ガス有害性試験]

次の式によって求めた X_s の値が、6.8分以上であった。

$$X_s = \bar{X} - \sigma$$

上式において、 \bar{X} 及び σ は、それぞれ次の数値を表すものとする。

\bar{X} ：8匹のマウスの行動停止までの時間(マウスが行動を停止するに至らなかった場合は、15分とする)の平均値(単位：分)

σ ：8匹のマウスの行動停止までの時間(マウスが行動を停止するに至らなかった場合は、15分とする)の標準偏差(単位：分)

5-4 評価の方法

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

6. 申請者連絡先

会社名：〇〇〇〇株式会社
所在地：〇〇府〇〇市〇〇町0丁目0番0号
電 話：00-0000-0000

担当者の連絡先ではなく、申請者の連絡先を記載して下さい。